

## 県産材利用促進の取組状況について

県産材利用促進条例に基づき、平成29年5月に策定した「県産材利用促進指針」においては、県産材の利用を促進する施策を総合的に推進するとともに、施策の実施状況を毎年公表することとしており、令和2年度の取組状況等を取りまとめたので報告する。

### 1 県産材生産量の目標と実績

目標（令和2年）530千 $m^3$	実績（令和2年）522千 $m^3$ （達成率98%）
--------------------	-----------------------------

### 2 県が整備する公共建築物における県産材利用量の目標と実績

5年間（平成29～令和3年度） 【年度平均目標量】	目標量 2,425 $m^3$ 【485 $m^3$ 】	進捗率
4年間（平成29～令和2年度） 【令和2年度実績】	実績 1,586 $m^3$ 【356 $m^3$ 】	65% 【73%】

・年度別の実績：H29 286 $m^3$ 、H30 602 $m^3$ 、R元 342 $m^3$ 、R2 356 $m^3$

### 3 推進体制等

(1) 県では、官民一体で組織する「県木材需要拡大推進会議」をはじめ、県民局単位の地域会議や庁内関係課、関係団体等と相互に連携を図りながら推進を図った。

- ・県木材需要拡大推進会議：1回開催  
地域木材需要拡大推進会議：各県民局で延べ5回開催  
公共施設等木材利用促進部会：1回開催  
CLT普及促進会議：1回開催

(2) 市町村では、公共建築物への木材利用推進の方針を定め、推進が図られた。

- ・市町村が整備した公共建築物への県産材利用量 1,619 $m^3$ （令和2年度）

### 4 県が支援した施策

(1) 公共建築物への利用促進 [実績額 49,426千円]

公共建築物等展示効果の高い施設において木造化や床壁の木質化、木製品導入等を支援するとともに、県産材の利活用に関する相談窓口を開設し、技術的な助言を行った。

- ・支援件数：51件（学校、保育園等）
- ・県施設等への木製品導入：森林研究所



学校の腰壁  
(岡山市)



保育園のベンチ等  
(井原市)

(2) 木造住宅等の普及促進 [実績額 92,829千円]

ア 木造住宅への県産乾燥材、県産森林認証材の積極的な使用を推進した。

- ・ 支援戸数：394戸、県産乾燥材等使用材積：3,877m<sup>3</sup>

イ 民間非住宅分野での木造建築物の新築を支援した。

- ・ 支援件数：8件、県産乾燥材等使用材積：73m<sup>3</sup>

ウ 県産材が消費者に届くまでの関係者の連携を推進するサプライチェーン活動や県産材サポーターの養成を支援した。

- ・ 支援対象：5グループ
- ・ サポーター養成37名



県産乾燥材使用住宅



サプライチェーン活動

(3) 販路開拓の促進 [実績額 3,813千円]

県産材の販路開拓等の取組を支援した。

- ・ 展示会への出展（韓国）
- ・ 輸出促進セミナーの開催：3回
- ・ 公開用PR動画作成（台湾・韓国向け）



PR動画（韓国向け）

(4) CLT等の普及促進 [実績額 9,990千円]

ア 市町村職員等を対象としたセミナーを開催した。

- ・ 普及セミナーの開催：2回

イ 公共建築物等展示効果の高い施設において、木造化や内外装の木質化を支援した。

- ・ 支援件数：3件（団体事務所等）



CLTを使用した団体事務所（岡山市）

(5) 県民等への普及・PR [実績額 1,520千円]

ア 経済団体と連携し、県産材利用促進PR冊子の作成等により、普及推進を図った。

イ 消費者や都市住民等を対象とした展示会等によるPR活動を支援した。

- ・ 支援対象：2団体（津山地区木材組合等）



令和3年3月  
岡山県農林水産部林政課

県産材利用促進PR冊子

5 今後の取組

引き続き、市町村や関係団体等と連携し、様々な機会を通じて、木材の優れた特性をPRし、県産材の利用促進に取り組む。